

Policy  
**運営方針**

- 作業の効率化、大規模栽培技術の構築による生産性の向上と、葉たばこ経営の確立
- 病虫害の防除、乾燥技術の改善による葉たばこの高品質化及び生産の安定
- 花きなどの新作物の選定と、栽培技術の確立による中山間地域の農業振興

Staffs  
**職員構成**

場長	事務職員	研究員	農場管理員	合計
1	1	3	2	7

History  
**沿革**

- 大正14年 田村郡片曾根村(現・船引町)大字船引字南元町2に県立たばこ試験場を設置、葉たばこ耕作に関する研究及び中堅青年の養成に当たる
- 昭和3年 小野新町に分場設置、煙草指導員並びに中堅青年養成。昭和12年廃止
- 26年 福島市岡部に黄色種試験地設置、昭和30年廃止
- 30年 中堅青年養成事業の充実
- 36年 田村地方病虫害防除所観測所併設
- 39年 船引町新沼地区に試験場整備事業開始
- 43年 整備拡充事業完了、船引町字新沼75に移転。研究、後継者養成事業開始。葉たばこ耕作婦人講座開始
- 47年 葉たばこ高能率生産施設事業開始、昭和49年3月事業完結
- 52~54年 試験圃場整備(客土、暗渠排水)
- 57年 後継者養成事業における講習生の募集中止、59年廃止。後継者短期研修開始
- 61年 バーレー種(みちのく1号)の導入
- 63年 葉たばこを基幹作物とした花き栽培試験を開始、後継者短期研修の廃止
- 平成6年 葉たばこ耕作婦人講座廃止
- 9年 機械乾燥試験用施設の整備
- 9年 一部地域にみちのく2号を導入